

R6年度 個別地域ケア会議実施報告

(1) 主催

地域包括支援センター(5か所)

(2) 目的

- ・高齢者の自立支援に資するケアマネジメントの支援
- ・実態把握や課題解決のための、地域包括支援ネットワークの構築
- ・個別ケースの課題分析等を行うことによる地域課題の把握

(3) 開催回数

包括名	十字の園	さくら通り	菜の花	あすなろ	富岳	合計
回数	3	2	2	3	2	12

(4) 参加者

本人・家族、介護支援専門員、生活支援コーディネーター(社会福祉協議会)、市長寿福祉課、その他(支援に関わる専門機関)

(5) 検討内容(一部抜粋)

- ・聴覚障害のある人の緊急時や災害時の対応について
- ・猫の多頭飼育崩壊の対応について
- ・独居高齢者の金銭管理について
- ・認知症の人の在宅サービス利用について
- ・認知症の人や独居高齢者の見守り体制の整備について
- ・認知症による暴言や暴力、近隣トラブルへの対応について

R6年度 圏域地域ケア会議実施報告

(1) 主催

地域包括支援センター(5か所)

(2) 目的

- ・個別事例の検討から導かれる地域課題の抽出
- ・地域課題について、地域で対応可能なことの検討
- ・地域資源の情報共有
- ・開催した個別地域ケア会議の検証と検証結果のフィードバック

(3) 開催回数

圏域名	御殿場 地区	原里 地区	印野 地区	高根 地区	玉穂 地区	富士岡 地区	合計
回数	1	1	1	1	1	1	6

(4) 参加者

見守りネットワーク構成員

→医師、歯科医師、警察、消防、区長、民生委員・児童委員、介護施設、居宅介護支援事業所、
医療機関、生活支援コーディネーター(社会福祉協議会)、市長寿福祉課、
その他(見守りネットワーク構築に関わる関係機関)

(5) 検討テーマ

認知症について地域の理解を促すために何ができるか

(6) 検討内容(一部抜粋)

- ・認知症サポーター養成講座の活用
- ・広報ごてんばでの周知
- ・気軽な相談の場の確保
- ・認知症とわかるグッズの配布
- ・班や組で見守る体制の整備
- ・近隣に認知症と伝える 等
- ・老人クラブやサロン等への参加を促す
- ・送迎支援を行う
- ・施設等で認知症の本人を預かり家族がリフレッシュできる時間を作る

R6年度 御殿場市高齢者地域ケア会議実施報告

(1) 主催

御殿場市

(2) 目的

政策的な対応を必要とする課題や市域全体に関わる課題について検討

(3) 開催回数

年1回

(4) 参加者

主任介護支援専門員、訪問看護事業所看護師、認知症総合支援事業推進協議会代表、
民生委員・児童委員、地域包括支援センター、生活支援コーディネーター（社会福祉協議会）

(5) 検討テーマ

地域課題「認知症に関する正しい知識の理解が十分進んでいない」に対する改善策

(6) 検討内容（一部抜粋）

- ・認知症サポーター養成講座等の講座の拡充
- ・市民向けセミナーの実施
- ・みくりやあんしん手帳の活用
- ・媒体による周知
- ・認知症カフェの拡充
- ・ヘルプマークの活用またはヘルプカードの作成
- ・みくりや安心だねっとの強化

認知症総合支援事業推進協議会で
さらに検討を行った

(7) 最終結果

以下についてR7年度から実施する。

①認知症サポーター養成講座等の講座の拡充や市民向けセミナーの実施

企業等に周知し実施を呼びかける。また、認知症月間展示で講座やセミナーを周知する。

②みくりやあんしん手帳の活用や媒体による周知

多くの市民や関係機関に対して配布を行う。また、広報ごてんばに認知症特集を掲載する。

③本人ミーティング等でニーズを把握する

④みくりや安心だねっとのチラシを工夫し周知を図る